

事務事業名		リサイクルプラザ維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	
	政策	3	環境にやさしいまちづくり			担当係	施設係	担当課長名	山田 弘		
	施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用			新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1	3R運動とごみ減量化の推進			実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8009	一般	4	2	1	リサイクルプラザ維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H18年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市リサイクルプラザ条例					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)			
リサイクルプラザ施設の適正な管理(維持補修、清掃業務委託、警備業務委託、昇降機・リフト保守点検業務委託)を行うことにより、建物や機器類を適正な状態に保ち、3R啓発の場、市民の行う3R活動の拠点機能を維持する。				<ul style="list-style-type: none"> ・構内舗装、自動ドア修繕 ・清掃業務委託(長期継続契約H25.4.1～H28.3.31) ・警備業務委託(長期継続契約H22.4.1～H27.3.31) ・エレベーター保守点検業務委託(長期継続契約H25.4.1～H28.3.31) ・段差解消機保守点検業務委託(単年度) 			
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
修繕件数		件	5	4	0	0	0
開館日数		日	302	301	300	300	300
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)							
リサイクルプラザ				対象指標			
延べ床面積		㎡	2,453	2,453	2,453	2,453	2,453
利用者数(年間)		人	6,979	7,287	7,000	7,000	7,000
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)							
施設の効率的、効果的な維持管理を行うことにより、建物や付属機器類の延命化が図られ歳出が削減される。来館者が安心して利用できるよう施設環境を保ち、事務執行に支障のないようにする。				成果指標			
修繕回数		件	5	4	0	0	0
施設利用ができなかった(施設の一部利用不可を含む)日数		日	0	0	0	0	0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)							
ごみ問題が十分に理解され3Rへの取り組みが実践されている。				上位成果指標			
再生利用率=再生利用量/ごみ総排出量		%	15.7	14.2	25.0	27.5	30.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
事業費の内訳	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	2,234	1,484								
	一般財源	千円	3,905	4,065	5,822	5,680	5,680	5,680				
	事業費計(A)	千円	6,139	5,549	5,822	5,680	5,680	5,680				
	事業費の内訳	千円										
消耗品費		28	23	90	26	26	26					
修繕費		1,292	569	773	696	696	696					
清掃委託費		3,024	3,111	3,111	3,111	3,111	3,111					
警備委託料		756	777	778	778	778	778					
保守委託料		1,039	1,069	1,070	1,069	1,069	1,069					
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1					
人件費	のべ業務時間	時間	60	60	60	60	60					
人件費	人件費計(B)	千円	233	236	236	236	236					
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,372	5,785	6,058	5,916	5,916	5,916					

事務事業名	リサイクルプラザ維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	1312
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年3月に資源循環型社会へ向けての市民意識の啓発を図る目的でリサイクルプラザが竣工し維持管理事業が開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	猛暑・酷暑といわれるような気象状況があるなど、環境に対する市民の関心は以前にも増して高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	過去に、議会でリサイクルプラザの付属設備について質問があった。現在は、多くの来館者から清潔で近代的な施設であるとの感想が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 リサイクルプラザの適切な維持管理により、リサイクルの拠点施設としての機能を維持し、来館者に対し活動の場として適切に提供するものであり、ひいては、リサイクルを推進するという目的に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 循環型社会の構築は自治体の責務であり、市民に再資源化・ごみ減量化を積極的に呼びかけていかなければならない。その啓発の拠点施設を設置者である市が維持管理を行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ごみの減量化、再資源化には市民の意識の向上が必要であり、この施設で行う各種啓発事業に支障のないよう維持管理を行うことは必要である。今までどおり維持管理を行うことにより、来館者に使用上支障のない状態を保ち、かつ建物の延命化を図ることは、この事務事業の対象と意図に合う。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 最低限の事業費で業務委託を行っているため、契約内容以上の成果の向上余地はない。なお、業務の契約に際しては、長期継続契約などを取り入れて事務の合理化を図っている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似の目的を持った施設は他にないので類似事務事業との統合・連携もない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費しか計上していなく、維持管理もほとんど業務委託により行っており、職員が直接管理する部分は少ないので、人件費削減の余地もない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 施設の維持管理事業であり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	リサイクルをはじめとした資源の有効活用のための活動はこれからも一層推進していかなければならず、そのためにも3R啓発の拠点施設である当施設の維持管理事業は、廃止できない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1 # 成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	1 # 成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
1 # 成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	